

ネイティブ バチルス・ピュミルス ビリルビンオキシダーゼ/ラッカーズ

Cat. No. NATE-1257

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ビリルビンオキシダーゼ (EC 1.3.3.5) は、化学反応 $2 \text{ ビリルビン} + \text{O}_2 \leftrightarrow 2 \text{ ビリベルジン} + 2 \text{ H}_2\text{O}$ を触媒する酵素です。したがって、この酵素の二つの基質はビリルビンと O_2 であり、その二つの生成物はビリベルジンと H_2O です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、具体的にはドナーの CH-CH グループに作用し、酸素をアクセプターとするものです。この酵素はポルフィリンおよびクロロフィルの代謝に関与しています。

別名 ビリルビンオキシダーゼ M-1; EC 1.3.3.5; 80619-01-8; ビリルビン:酸素オキシドレダクターゼ; ビリルビンオキシダーゼ

製品情報

由来 バチルス・ピュミルス

形態 凍結乾燥粉末

分子量 61 kDa

純度 ~ 90% (SDS PAGE)

等電点 6.03

最適pH 6.5

熱安定性 25°C - 70°C

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 8.4の条件下で1.0 μmoleのビリルビンを1分間に酸化するか、37°CでpH 6.5の条件下で1.0 μmoleのシリナガルジンを1分間に酸化します。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで